

文部科学省による本プログラムの中間評価（書面評価および現地調査）の**評価結果**が公表され、「目標達成が可能と判断される」という4段階中最高の評価をいただきました。

「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム」は、産学及び大学間の壁を越えて潜在力を結集し、教育内容・体制を強化することにより、専門的スキルを有するとともに、社会情勢の変化等に先見性をもって対処できる世界最高水準のIT人材を育成するための教育拠点の形成を支援するプログラムです。平成19年度に採択したセキュリティ分野における高度IT人材育成を目的とした2拠点「本学におきましては、社会的ITリスク軽減のための情報セキュリティ技術者・管理者育成（IT-Keys）」について、先導的情報セキュリティ人材育成推進委員会（委員長：寛 捷彦 早稲田大学理工学術院教授）において、進捗状況報告書の提出を受け付け、書面評価を実施するとともに、全ての拠点に対して現地調査を行い、現時点での進捗状況や成果等を確認するとともに、当初目的通りの達成が可能か否かについて中間評価を受けました。結果としましては「目標達成が可能と判断される」という4段階中最高の評価をいただきました。

プロジェクト名称「社会的ITリスク軽減のための情報セキュリティ技術者・管理者育成（IT-Keys）」

URL <http://it-keys.naist.jp/>

機関：奈良先端科学技術大学院大学、大阪大学、京都大学、北陸先端科学技術大学院大学

先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム
平成19年度採択プロジェクト一覧

大学等	プロジェクト名称
◎奈良先端科学技術大学院大学 大阪大学 京都大学 北陸先端科学技術大学院大学	社会的ITリスク軽減のための情報セキュリティ技術者・管理者育成
◎情報セキュリティ大学院大学 中央大学 東京大学 国立情報学研究所	研究と実務融合による高度情報セキュリティ人材育成プログラム

※「大学等」欄の◎は拠点大学、無印は連携大学を示す

「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム（平成19年度採択）」
中間評価結果

1. 総合評価結果

総合評価	件数
当初目的に照らして、計画は順調に実施に移され、現行の努力を継続することによって目標達成が可能と判断される	2件
当初目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要と判断される	0件
このままでは当初目的を達成することは難しいと思われるので、助言等に考慮し、当初計画の適切な変更が必要と判断される	0件
現在までの進捗状況等に鑑み、今後の努力を待っても当初目的の達成は困難と判断される	0件
計	2件

2. 総合評価内訳

当初目的に照らして、計画は順調に実施に移され、現行の努力を継続することによって目標達成が可能と判断される【2件】

大学名 (◎：申請大学)	教育プロジェクト名
◎奈良先端科学技術大学院大学 京都大学 大阪大学 北陸先端科学技術大学院大学	社会的ITリスク軽減のための情報セキュリティ技術者・管理者育成
◎情報セキュリティ大学院大学 中央大学 東京大学 国立情報学研究所	研究と実務融合による高度情報セキュリティ人材育成プログラム

社会的ITリスク軽減のための情報セキュリティ技術者・管理者育成 文部科学省先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム IT Specialist program to promote Key Engineers as security Specialists



IT-Keys

関西圏4大学に分散している専門家を結集した遠隔型教育コース（**基礎科目群**、**先進科目群**、**実践科目群**）を設け、企業等からの招聘講師による最新動向を反映した講義や実践的演習を通してOQ/CSQ/OSあるいはその補佐として即戦力となる実務者の育成

特徴

IT-Keysで育成される人材は、技術的側面のみならず、経営的、法律・倫理的、政策的、社会的側面からも情報セキュリティ対策を検討できる高度な情報セキュリティ技術者・管理者の育成を主眼

組織構成



IT-Keysプログラムのコースウェア



先進科目群(2科目)

- ・情報セキュリティ応用リテラシー（法律や監査、政策等）
- ・最新情報セキュリティ特論（構円曲線や標準化動向等）

実践科目群(6演習プログラム)

- ・インシデント体験演習（マルウェア等の振る舞い解析）
- ・IT危機管理演習（想定外インシデントの対応訓練）
- ・リスクマネジメント演習（動的マルウェア解析演習）
- ・無線LANセキュリティ（無線LANの脆弱性、攻撃対策等）
- ・システム攻撃・防御演習（各種サーバの脆弱性解析等）
- ・システム侵入演習（攻撃と防御の分析、対策手法等）

基礎科目群

各大学にて開講（セキュリティに関係する授業）

実践的なセキュリティ演習プログラム



- 理論・技術知識だけでなくヒトとヒトをつなぐ本物のマネジメントを学ぶ

・大規模ネットワークシミュレータ StarBED (NICT 北陸リサーチセンター)を利用した実インターネットを想定したインシデント体験演習プログラム(2泊3日@石川県)



・JPCERT/CC(テレコムアイザック)、サイバークリーンセンター(CCC)、IPAによるマルウェア動的解析演習プログラム、およびセキュリティ関連企業、組織見学(3泊4日@東京都)



・実際のネットワーク運用を考慮したインシデント対応訓練等を実施したIT危機管理演習プログラム(2泊3日@和歌山県)



・無線LANの脆弱性やインターネット上に存在する様々なサーバに対する攻撃とその解析、さらに防御手法について学習する(1泊2日の3セット@大阪大学)

